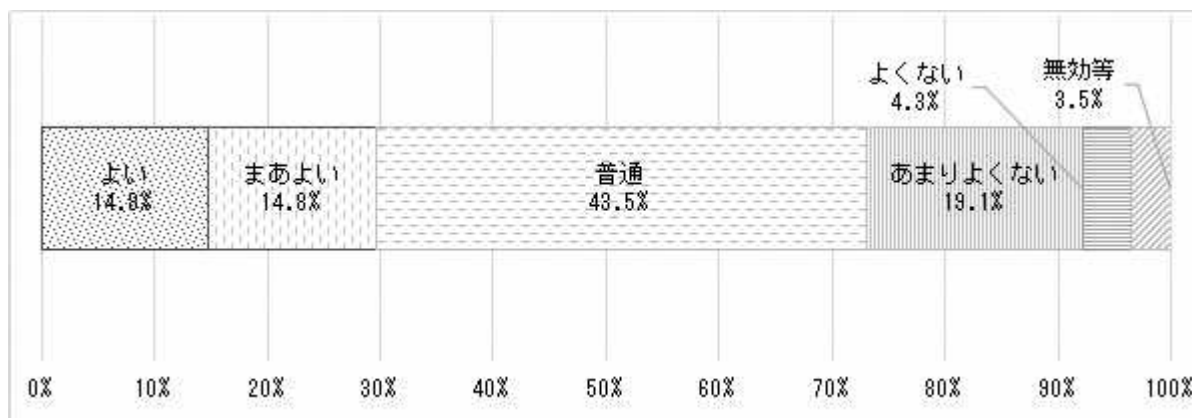


IV. 現在の生活状況

1 現在の健康状態（問20）

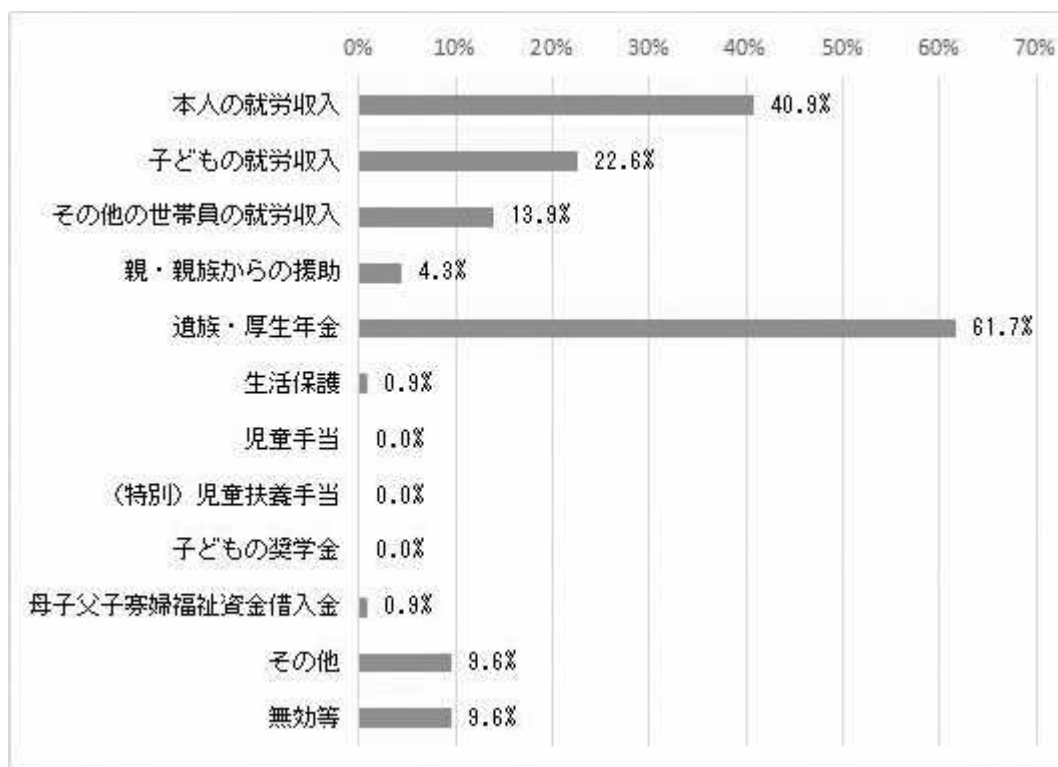
健康状態について、「普通」が43.5%、「よい」、「まあよい」がそれぞれ14.8%となっている。一方、19.1%が「あまりよくない」、4.3%が「よくない」としており、寡婦の2割余りが健康状態に不安を感じていることがわかる。



	回答数	構成比
よい	17	14.8%
まあよい	17	14.8%
普通	50	43.5%
あまりよくない	22	19.1%
よくない	5	4.3%
無効等	4	3.5%
総計	115	100.0%

2 世帯全体の収入（問21）

寡婦の世帯全体の収入に含まれているものについて、「遺族・厚生年金」が61.7%で最多、次いで「本人の就労収入」が40.9%、「子どもの就労収入」が22.6%となっている。



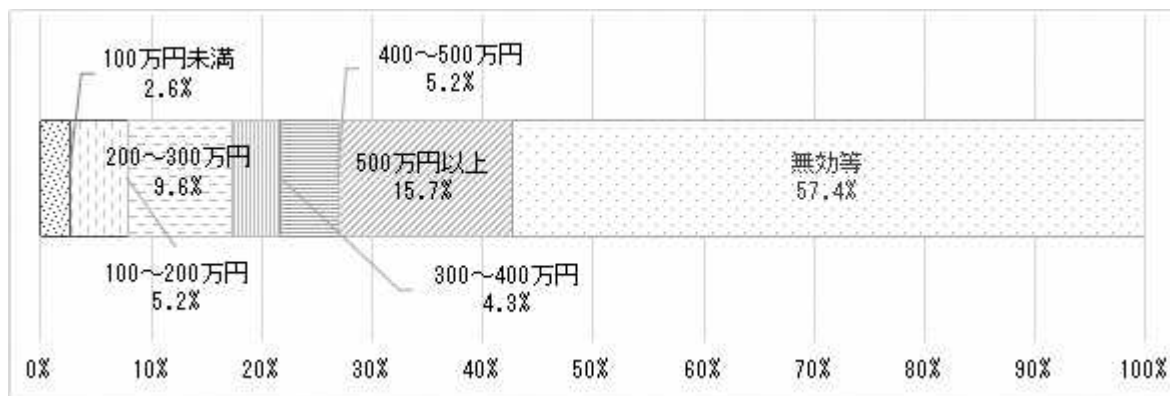
	回答数	構成比
本人の就労収入	47	40.9%
子どもの就労収入	26	22.6%
その他の世帯員の就労収入	16	13.9%
親・親族からの援助	5	4.3%
遺族・厚生年金	71	61.7%
生活保護	1	0.9%
児童手当	0	0.0%
(特別) 児童扶養手当	0	0.0%
子どもの奨学金	0	0.0%
母子父子寡婦福祉資金借入金	1	0.9%
その他	11	9.6%
無効等	11	9.6%
回答者数	115	100.0%

3 年収及び同居親族を含む世帯の年間総収入（問 22）

（1）同居親族を含む寡婦世帯の年間総収入

同居親族を含む世帯の年間総収入（税込み、賞与分も含む）について、母子世帯では、「500万円以上」が最多で15.7%、次いで「200万円以上300万円未満」が9.6%となっている。

平均額（回答数から無回答、無効回答を除いて算出）は、409.0万円となっている。

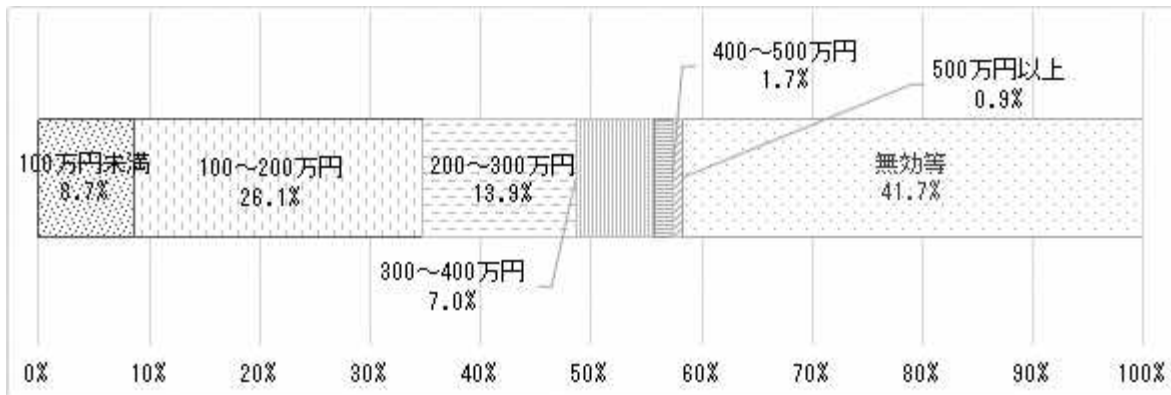


	回答数	構成比
100万円未満	3	2.6%
100万円以上200万円未満	6	5.2%
200万円以上300万円未満	11	9.6%
300万円以上400万円未満	5	4.3%
400万円以上500万円未満	6	5.2%
500万円以上	18	15.7%
無効等	66	57.4%
総計	115	100.0%

(2) 寡婦本人の年間総収入

寡婦本人の年間総収入（税込み、賞与分も含む）について、「100万円以上200万円未満」が最多で26.1%、次いで「200万円以上300万円未満」が13.9%となっている。

平均額（回答数から無回答、無効回答を除いて算出）は、186.1万円となっている。

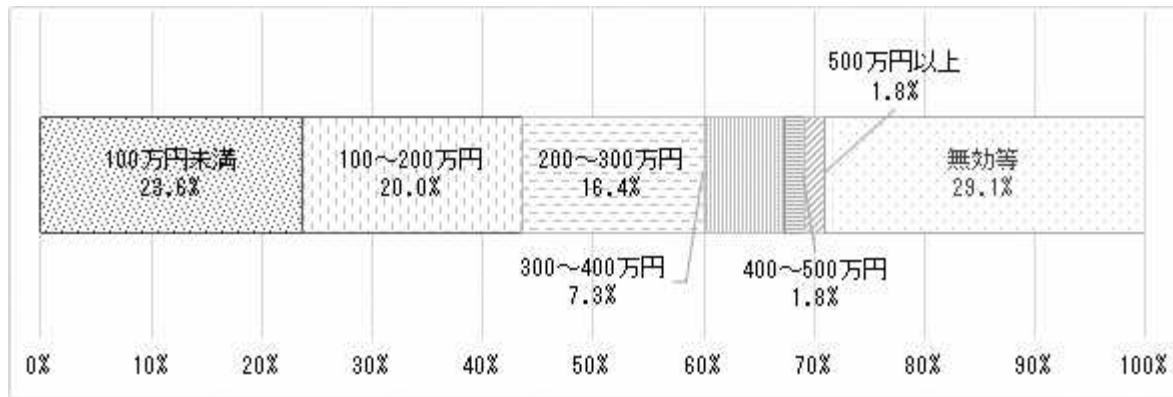


	回答数	構成比
100万円未満	10	8.7%
100万円以上200万円未満	30	26.1%
200万円以上300万円未満	16	13.9%
300万円以上400万円未満	8	7.0%
400万円以上500万円未満	2	1.7%
500万円以上	1	0.9%
無効等	48	41.7%
総計	115	100.0%

(3) 寡婦本人の年間就労収入

寡婦本人の年間就労収入（税込み、賞与分も含む）について、「100万円未満」が最多で23.6%、次いで「100万円以上200万円未満」が20.0%となっている。

平均額（回答数から無回答、無効回答を除いて算出）は、172.1万円となっている。

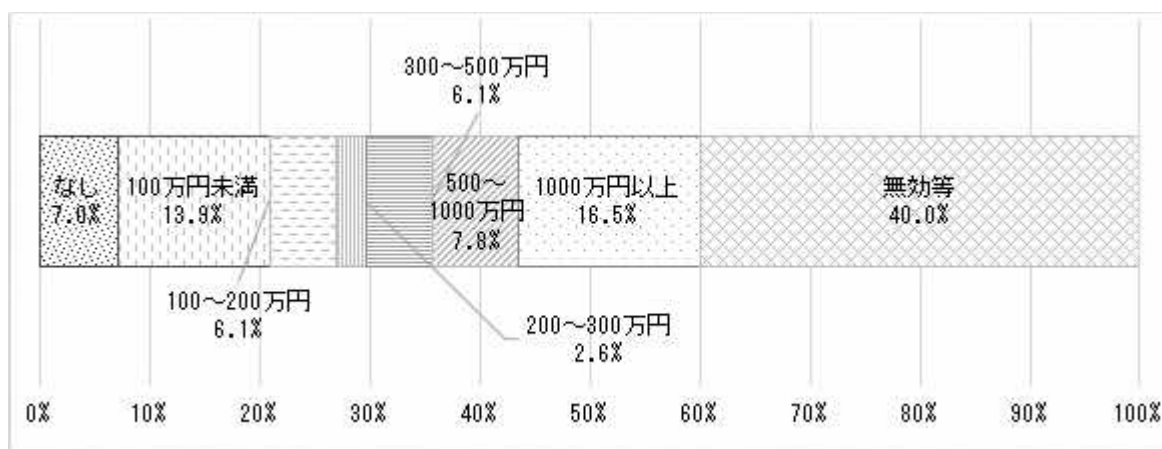


	回答数	構成比
100万円未満	13	23.6%
100万円以上200万円未満	11	20.0%
200万円以上300万円未満	9	16.4%
300万円以上400万円未満	4	7.3%
400万円以上500万円未満	1	1.8%
500万円以上	1	1.8%
無効等	16	29.1%
回答者数	55	100.0%

4 寡婦の現在の預貯金額（問38）

寡婦本人の預貯金額（財形貯蓄、株式・債券等を含む）について、「1000万円以上」が最多で16.5%、次いで「100万円未満」が13.9%となっている。

平均額（回答数から無回答、無効回答を除いて算出）は、598.3万円となっている。



	回答数	構成比
なし	8	7.0%
100万円未満	16	13.9%
100万円以上200万円未満	7	6.1%
200万円以上300万円未満	3	2.6%
300万円以上500万円未満	7	6.1%
500万円以上1000万円未満	9	7.8%
1000万円以上	19	16.5%
無効等	46	40.0%
総計	115	100.0%